各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの飛来状況及び防除対策(技術情報第7号)について このことについて、平成21年7月14日付け病防第54号(技術情報第4号)で海外飛来 性ウンカ類の飛来状況についてお知らせしたところですが、その後のトビイロウンカの飛来状 況及び防除対策を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

1 飛来状況

生産環境研究所(合志市)の予察灯では、6月24~25日に4頭、7月2日を中心に7月1~7日までに30頭誘殺された。その後、断続的に数頭の誘殺があったが7月25日には70頭、26日には17頭誘殺された(表1)。6~7月の誘殺数(予察灯)は、平年よりやや多い(表2)。 天草農業研究所(天草市)の予察灯では、まだ誘殺はみとめられていない(表3)。

2 有効積算温度による次世代予測

飛来時期から予測される第一、第二世代幼虫ふ化期は次のとおりである(図1)。

6月24日飛来:8月6日頃(第二世代)7月2日飛来:8月16日頃(第二世代)7月25日飛来:8月9日頃(第一世代)

7月27日現在、アメダスデータ(熊本市)を使用した。

- 3 防除対策及び防除上注意すべき事項
- (1)防除適期は、第二世代幼虫ふ化期から1週間である。
- (2)トビイロウンカは低密度でも増殖率が高く、秋には高密度となり坪枯れを引き起こすことがある。
- (3) は場における発生状況は、飛来時期や飛来量の他に移植時期や使用した薬剤、水稲の生育状況等で異なるので、防除を行う際は、次世代予測を参考とし、ほ場の発生状況をよく確認する。
- (4)防除適期は幼虫のふ化揃い期である。7月下旬~8月上旬:0.2頭/株、8月中~下旬:1頭/株の要防除水準を目安に防除する。
- (5)トビイロウンカは水稲の株元近くに生息する。粉剤及び液剤で防除する場合は、株元に 付着するように散布する。

7月下旬にほ場でのトビイロウンカ発生状況を調査する予定です。 調査結果については、後日技術情報等でお知らせします。

## (表1)トビイロウンカの飛来状況(平成21年)

	予察灯(60	W 白熱灯)	ネットトラップ			
調査日	天草市	合志市	天草市	合志市		
6/21	0	0	0	0		
6/22	0	0	0	0		
6/23	0	0	0	0		
6/24	0	2	0	0		
6/25	0	2	0	0		
6/26	0	0	0	0		
6/27	0	0	0			
6/28	0	0	0			
6/29	0	0	0	1		
6/30	0	0	0	0		
月計	0	4	0	1		
7/1	0	4	0	1		
7/2	0	18	0	1		
7/3	0	2	0	0		
7/4	0	2				
7/5	0	2				
7/6	0	1	0	0		
7/7	0	1	0	0		
7/8	0	0	0	0		
7/9	0	0	0	2		
7/10	0	0	0	0		
7/11	0	1	0	u		
7/12	0	1	0			
7/13	0	0	0	0		
7/14	0	0	0	0		
7/15	0	0	0	0		
7/16	0	1	0	0		
7/17	0	0	0			
7/18	0	0	0			
7/19	0	0	0			
7/20	0	0	0			
7/21	0	3	0	1		
7/22	0	1	0	0		
7/23	0	0	0	0		
7/24	0	1	0	1		
7/25	0	70	0			
7/26	0	17	0			
7/27						
7/28						
7/29						
7/30						
7/31	_					
月計	0	125	0	6		

## (表2)6~7月の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数

1 生産環境研究所(合志市)

- 工厂级况前7671(日本市)									
月	半旬	H16	H17	H18	H19	H20	平年値 (H11~H20)	平均值 (H1~H20)	H21
	1	0	0	1	0	0	0.1	0.1	0
	2	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0
6	3	0	0	2	0	0	0.2	1.5	0
0	4	2	0	1	0	0	0.4	3.3	0
	5	1	0	1	5	1	1.9	4.7	4
	6	9	4	12	6	0	3.7	3.7	0
7	1	1	3	147	96	3	27.3	65.3	28
	2	8	7	30	42	1	9.6	135.5	2
	3	0	301	0	14	0	40.3	43.7	2
	4	6	18	0	19	3	6.6	77.7	1
	5	15	22	11	5	2	6.3	8.9	75
	6	1	8	0	7	1	3.2	8.5	17
		43	363	206	194	11	99.7	352.7	129

2 天草農業研究所(天草市)

月	半旬	H16	H17	H18	H19	H20	平年値 (H11~H20)	平均値 (H1~H20)	H21
	1	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0
	2	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0
6	3	0	0	4	0	0	0.4	7.0	0
0	4	0	0	8	0	0	0.8	0.8	0
	5	0	0	0	2	0	0.2	1.6	0
	6	0	0	14	0	0	1.6	13.8	0
7	1	0	0	94	3	0	9.7	71.4	0
	2	4	25	51	0	0	8.0	96.1	0
	3	0	30	16	0	0	4.6	28.7	0
	4	0	1	8	0	0	1.2	105.3	0
	5	1	0	15	0	0	1.6	3.9	0
	6	0	2	57	0	0	5.9	7.4	
		5	58	267	5	0	34.0	335.8	0

注)7月6半旬は7月26日現在までの誘殺数

6月24日		6 <b>月24日飛来</b> 飛来				
6月25日 6月26日 6月27日 6月28日 6月29日 6月30日 7月1日 7月2日		産卵前期間		<b>7月2日飛来</b> 飛来		
7月3日 7月4日 7月5日 7月6日 7月7日 7月8日 7月9日 7月10日		卵期間		産卵前期間		
7月11日 7月12日 7月13日 7月14日 7月15日 7月16日 7月17日 7月18日 7月19日		幼虫期間		卵期間		
7月20日 7月21日 7月22日						
7月23日 7月24日 7月25日 7月26日 7月27日 7月28日 7月29日		産卵前期間		幼虫期間		7 <b>月25日飛来</b> 飛来 産卵前期間
7月30日 7月31日 8月1日 8月2日 8月3日 8月4日 8月5日		卵期間		産卵前期間		卵期間
8月6日 8月7日	防					21-2431-3
8月8日 8月9日 8月10日 8月11日 8月12日 8月13日 8月14日	除適期	幼虫期間		卵期間	┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣┣	幼虫期間
8月15日 8月16日 8月17日			<b>↑</b> 防			
8月18日 8月19日 8月20日 8月21日		産卵前期間	除適期			
8月22日 8月23日 8月23日 8月24日		连机制知间	<b>+</b>	幼虫期間		産卵前期間
8月25日 8月26日						ᆂᄭᄞᇄᄱᆙ
8月27日 8月28日 8月29日 8月30日 8月31日		卵期間		産卵前期間		卵期間

図1 有効積算温度によるトビイロウンカの次世代予測(アメダスデータ:熊本市))